



## 2024年3月期 決算説明資料

2024年5月15日

証券コード：4022

# 目 次

---

**1. 事業概要**

**2. 2024年3月期実績及び2025年3月期見通し**

# 1. 事業概要

# 事業概要

## 会社概要

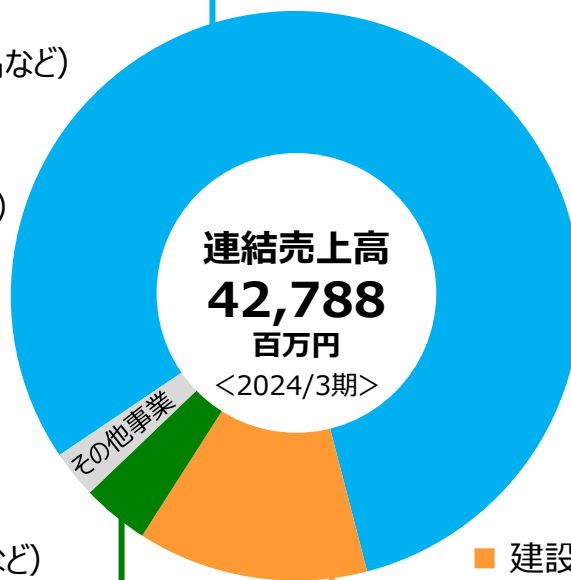
商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年5月1日
設立	1918（大正7）年6月26日
従業員数	620名（連結） <2024年3月31日現在>

## 化成品事業 34,391百万円／80.4%

- リン系製品
  - リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
  - リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）

- 化合物半導体向け高純度無機素材（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

## 電子材料事業 1,635百万円／3.8%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
  - 土木機械（掘進機（上下水道向け））
- ## 機械事業 5,584百万円／13.1%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

## **2. 2024年3月期実績及び2025年3月期見通し**

# 2024年3月期 決算概要

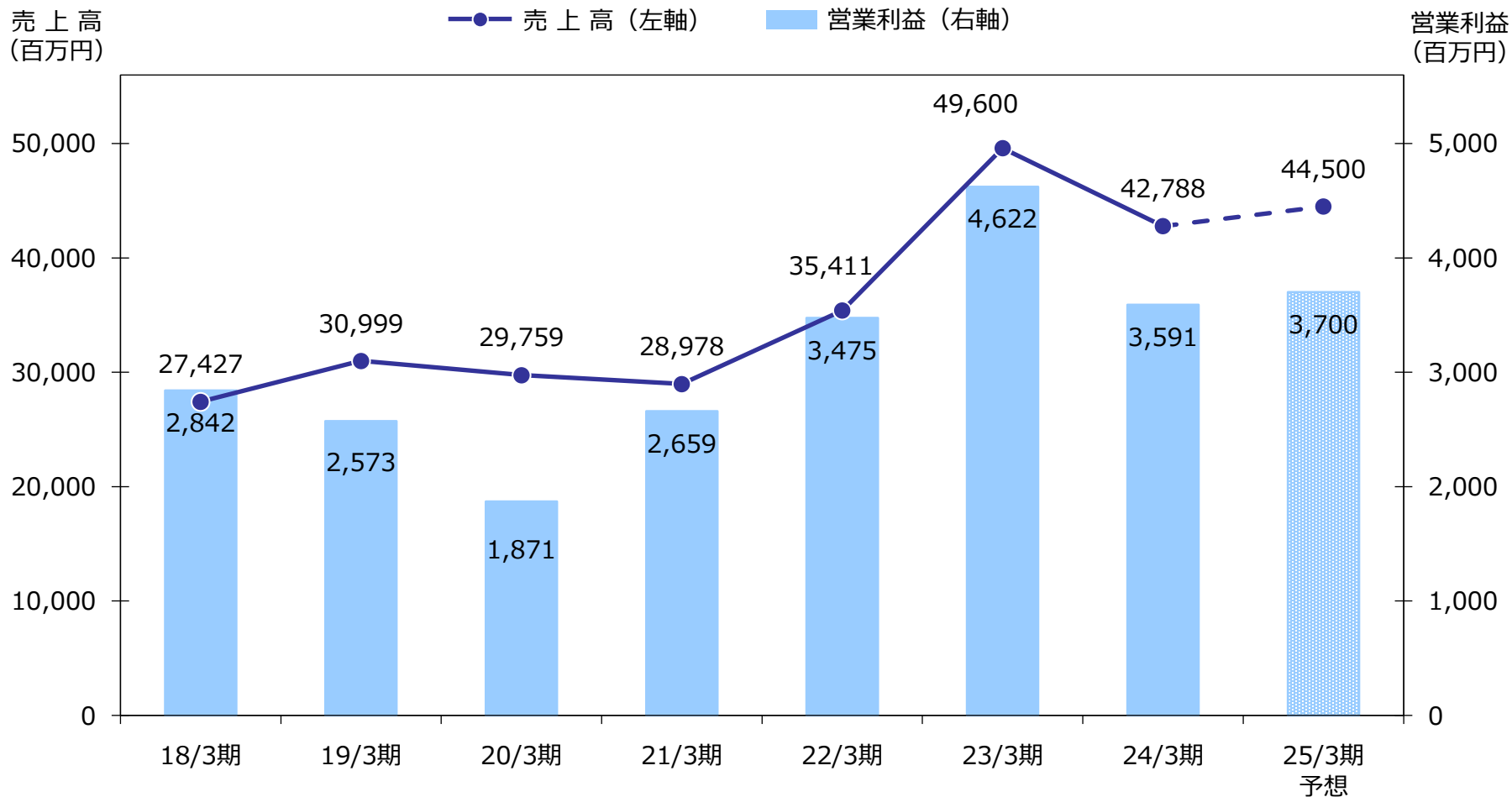
- 売上高は、化成品事業、電子材料事業において半導体市況の悪化により減収。機械事業は増収。
- 営業利益は、市況悪化による販売数量減を主因として、22.3%の減益。

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期	増減	前年同期比	業績予想	増減
売上高	49,600	42,788	△ 6,811	△ 13.7%	43,000	△ 211
営業利益	4,622	3,591	△ 1,031	△ 22.3%	3,250	341
経常利益	4,690	3,396	△ 1,293	△ 27.6%	3,050	346
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,232	2,382	△ 849	△ 26.3%	2,100	282
1株配当金	82.00円	91.00円	9.00円	11.0%	82.00円	9.00円
(減価償却費)	1,845	1,868	22	1.2%		

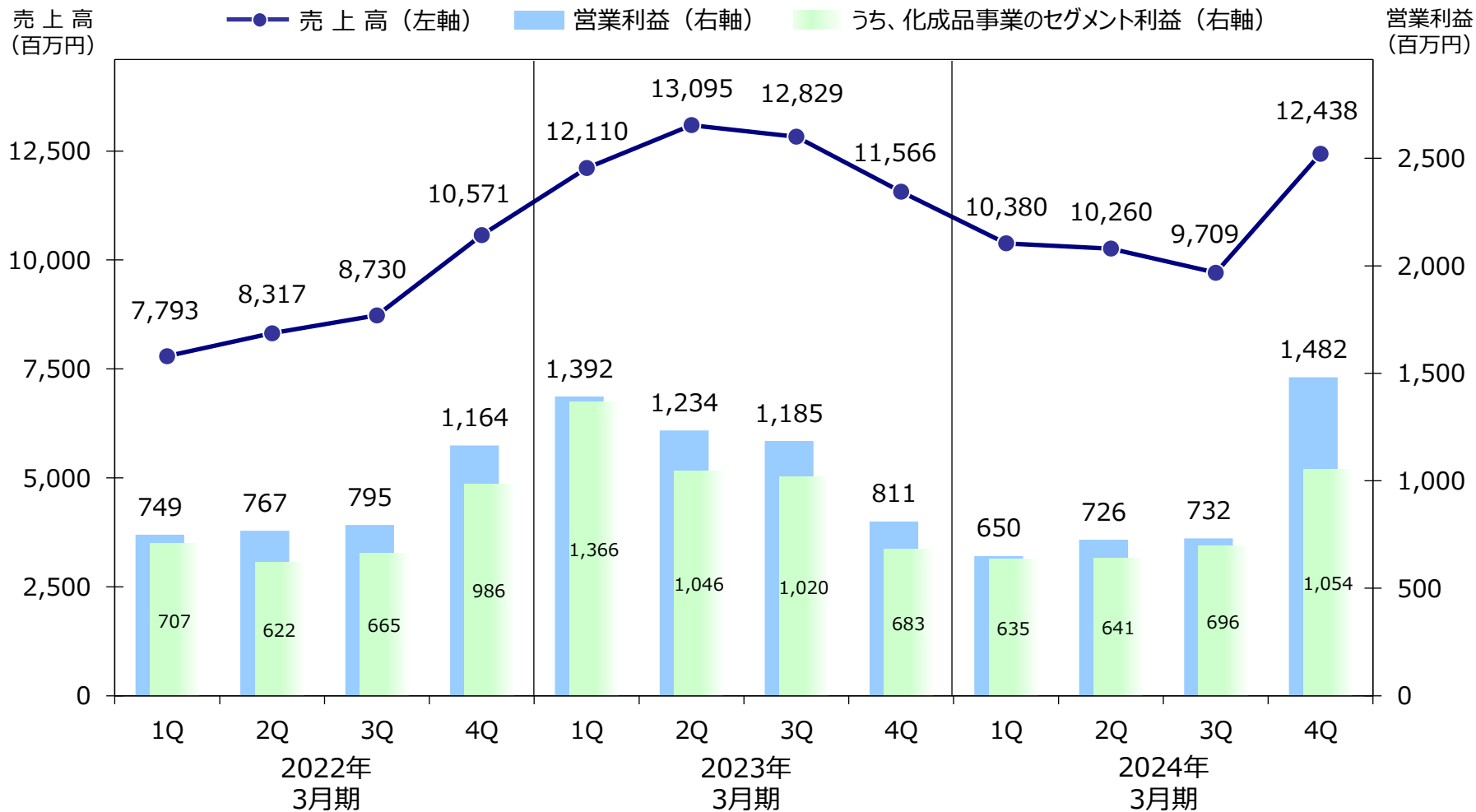
# 年度業績の推移

## 売上高と営業利益の推移



# 四半期業績の推移

## 四半期売上高と営業利益の推移



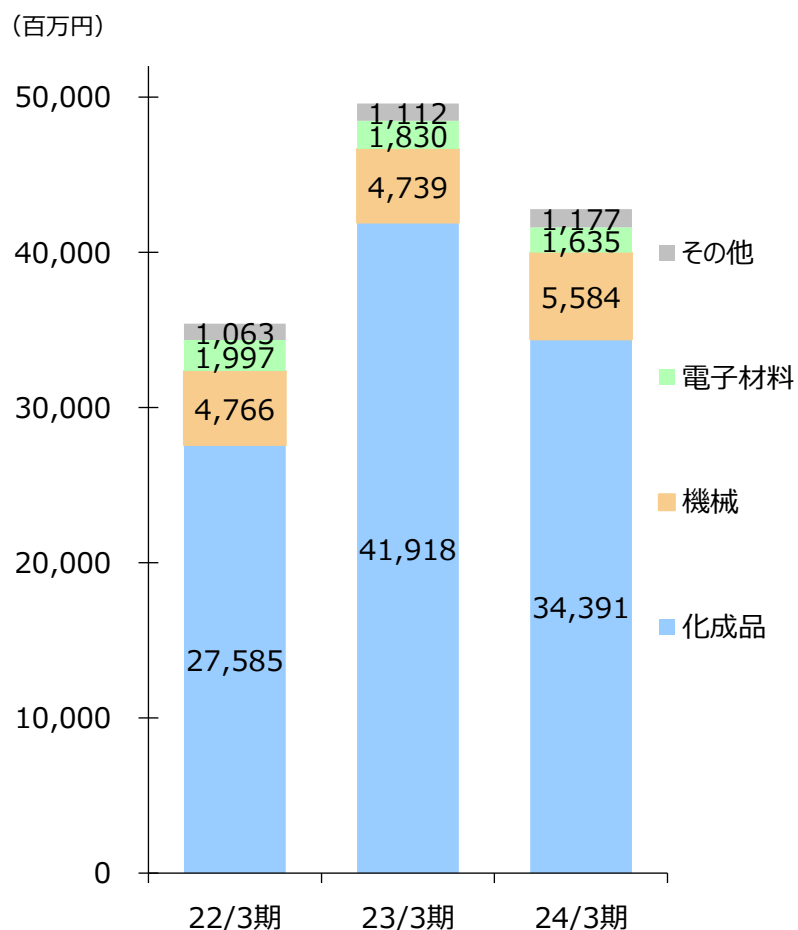


# 2024年3月期 セグメント別概要（売上高）

## 売上高の推移

(単位：百万円) (百万円)

	2023/3期	2024/3期	増減	前年 同期比
化成品	41,918	34,391	△ 7,527	△ 18.0%
機械	4,739	5,584	845	17.8%
電子材料	1,830	1,635	△ 194	△ 10.7%
その他	1,112	1,177	65	5.9%
合計	49,600	42,788	△ 6,811	△ 13.7%

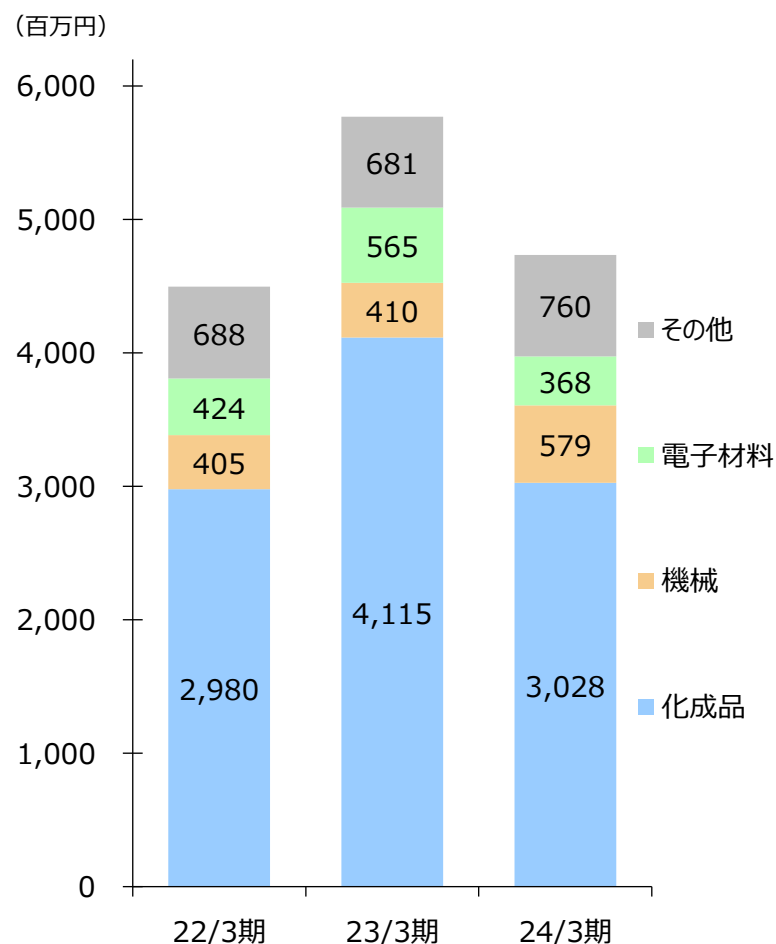


# 2024年3月期 セグメント別概要（利益）

## セグメント利益の推移

(単位：百万円) (百万円)

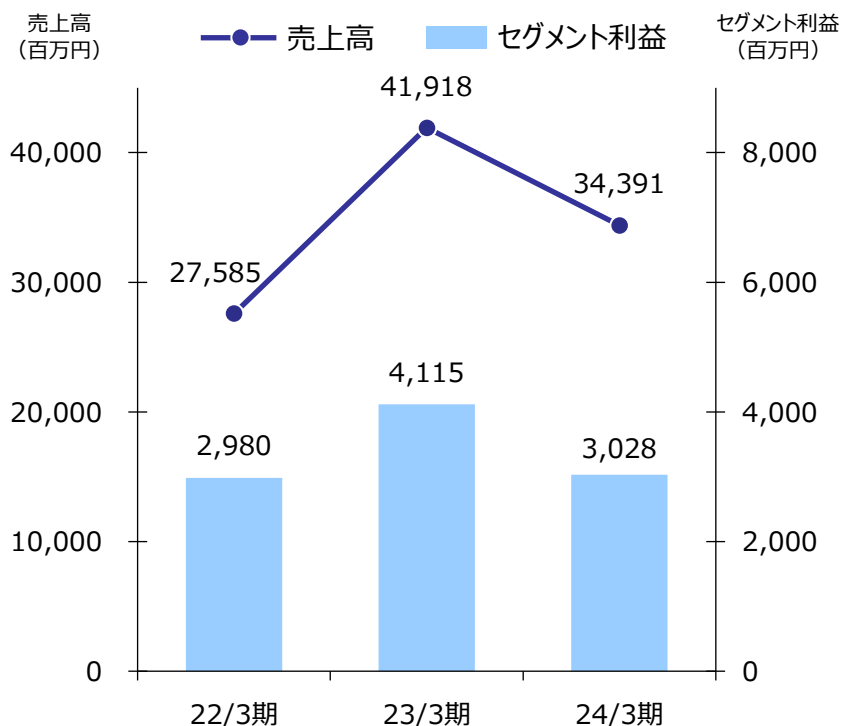
	2023/3期	2024/3期	増減	前年 同期比
化成品	4,115	3,028	△ 1,086	△ 26.4%
機械	410	579	168	41.0%
電子材料	565	368	△ 196	△ 34.9%
その他	681	760	79	11.6%
(調整額)	△ 1,149	△ 1,144	4	-
合計	4,622	3,591	△ 1,031	△ 22.3%



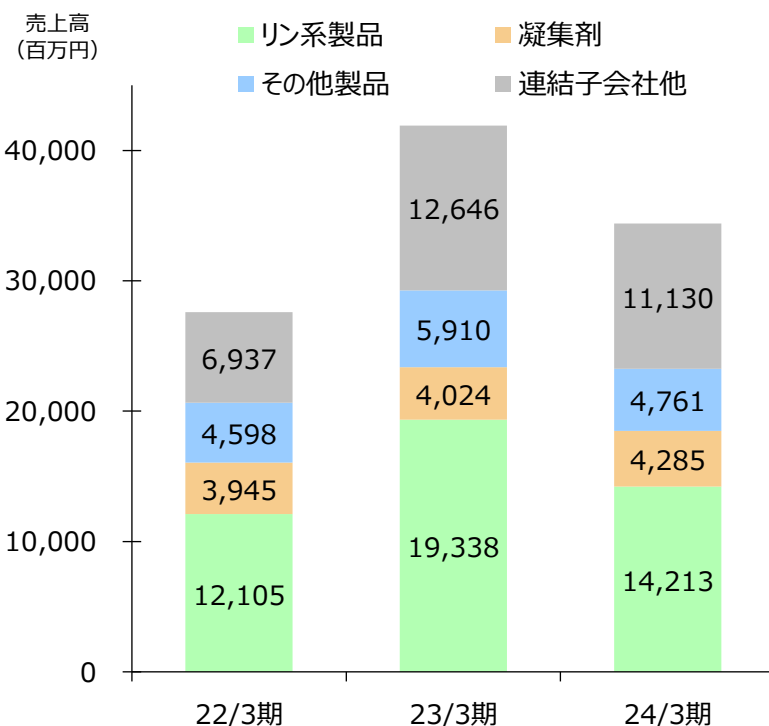
# 化成品事業

- リン系製品は、半導体向け高純度品が、市況の悪化を受け国内外共に大幅減収（連結子会社分を含む）。
- 凝集剤は、上水道向け製品が増収、電子部品のエッチング用途向けが減収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、調整局面の継続による販売数量の減少により減収。
- 営業利益は、半導体・電子部品関連市況悪化による販売数量減を主因として、26.4%の減益。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

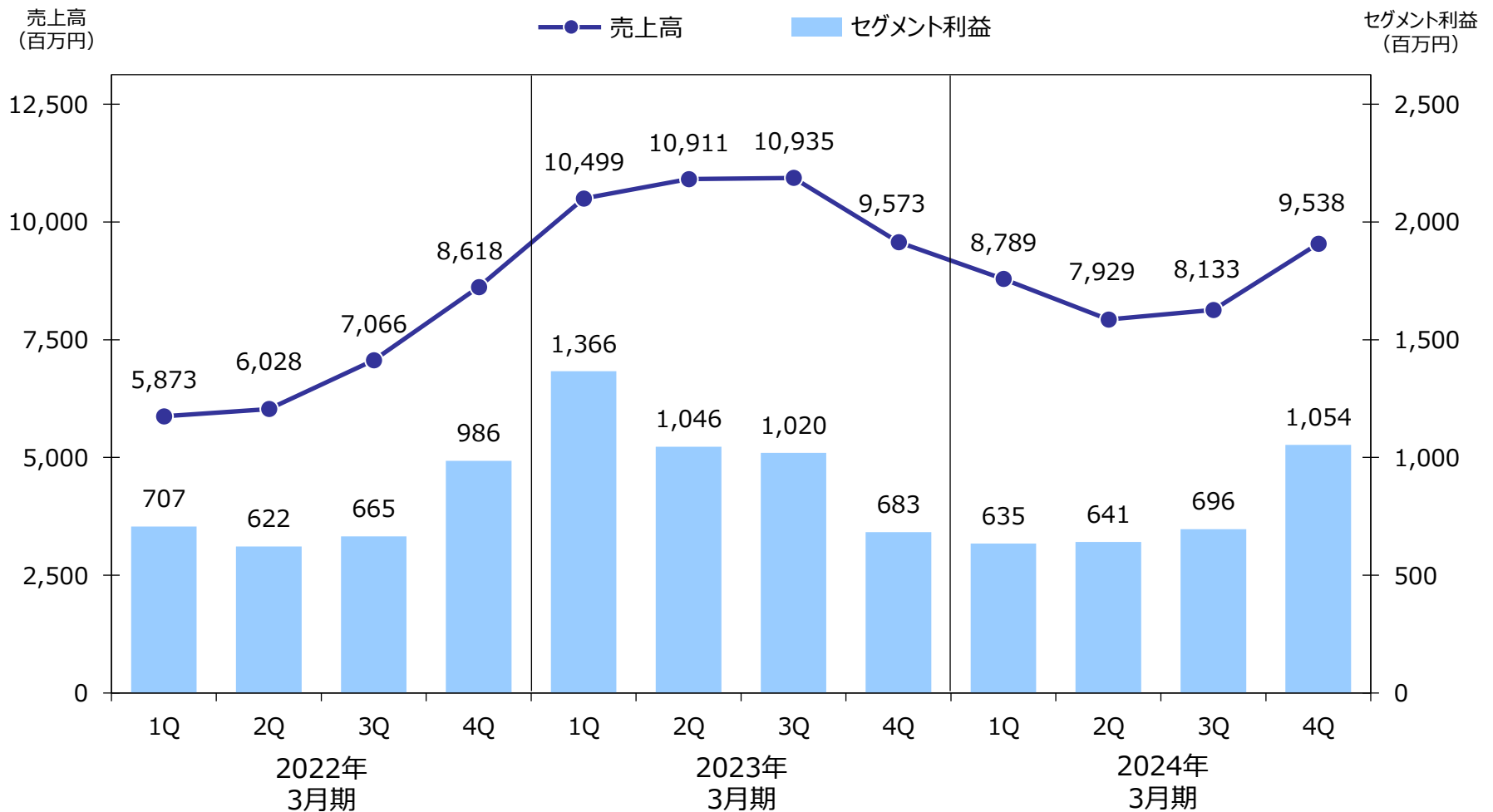


【化成品事業】 製品別売上高の推移



# 化成品事業（四半期業績）

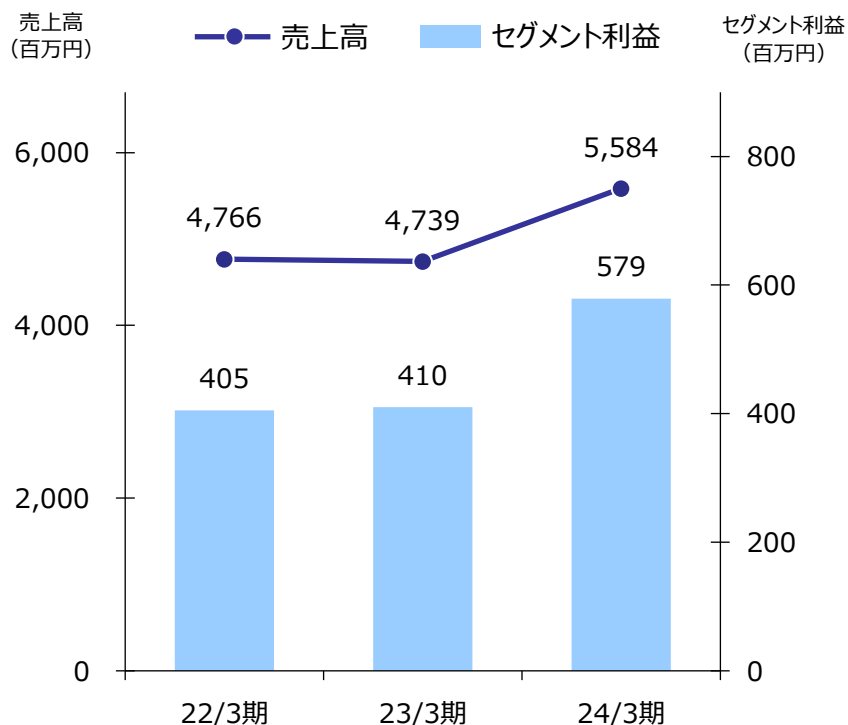
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



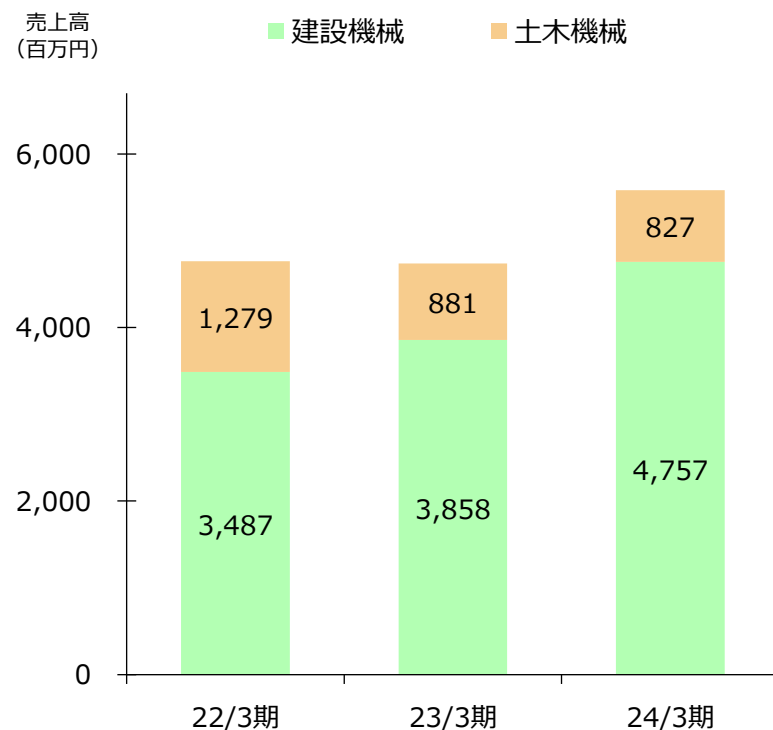
# 機械事業

- 建設機械は、本体販売が減収、プラント販売・消耗部品は増収。精密機械加工は減収。
- 土木機械は、本体販売、レンタル物件ともに減収。
- 営業利益は、建設機械の増収により、41.0%の大幅増益。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

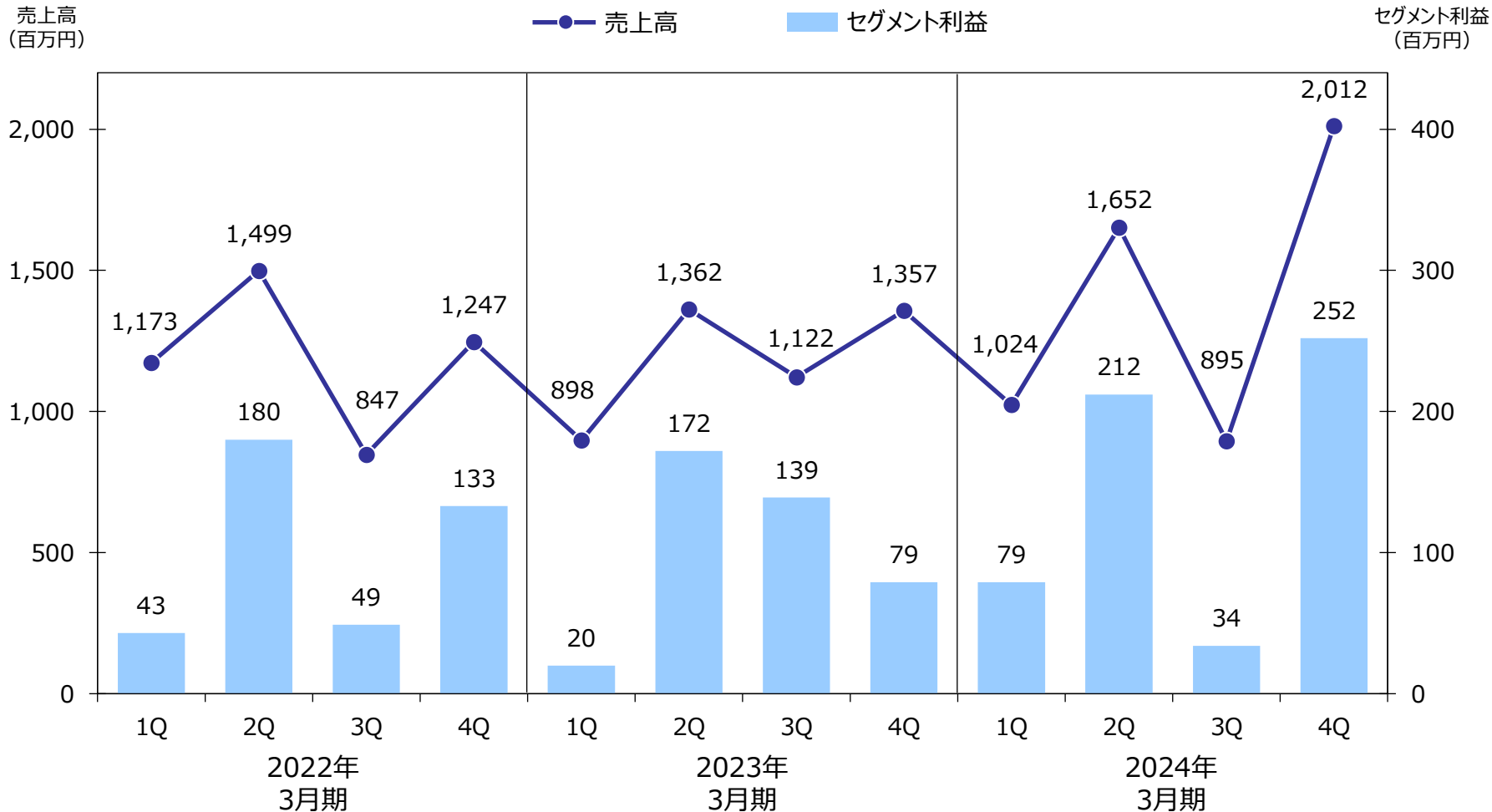


【機械事業】 製品別売上高の推移



# 機械事業（四半期業績）

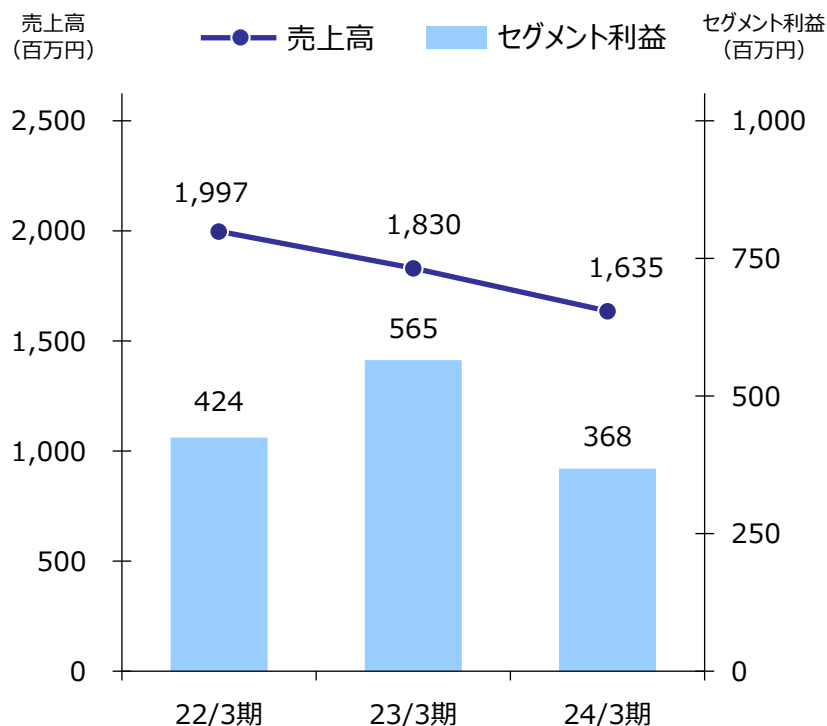
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



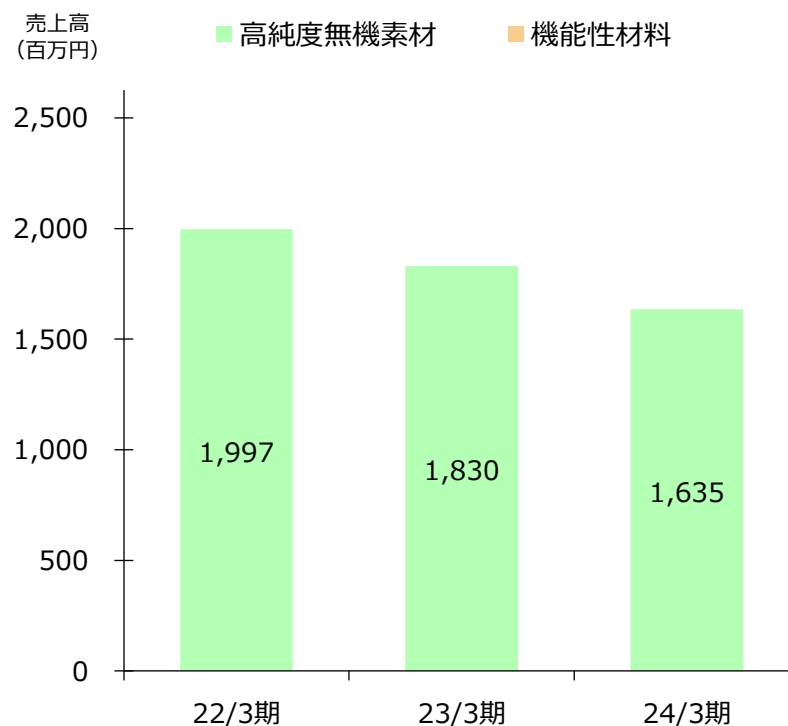
# 電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、ガリウムが若干の増収、インジウム、赤燐等が市況の悪化を受け減収。
- 営業利益は、市況悪化による販売数量減を主因として、34.9%の大幅減益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

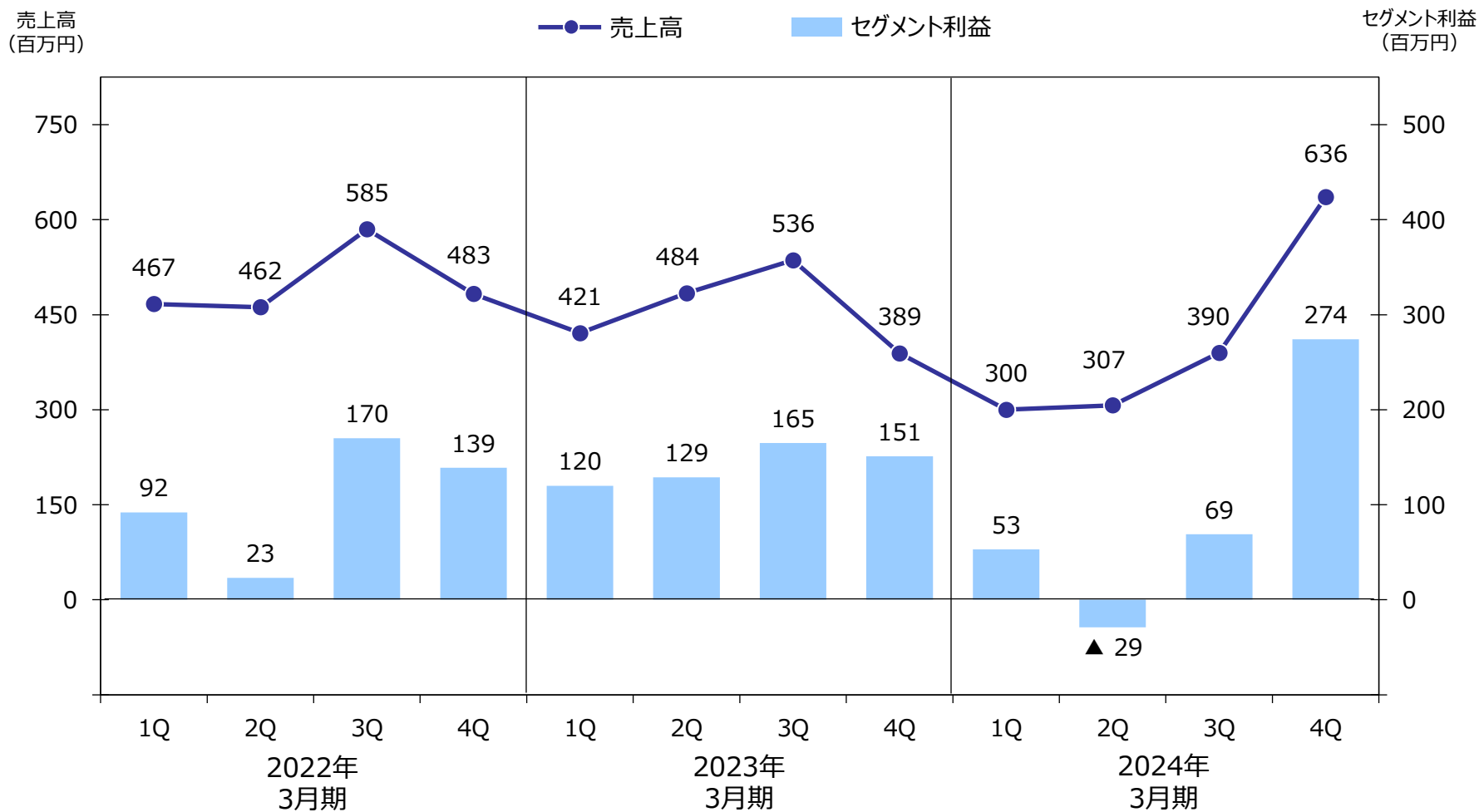


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



# 電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移





# 損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3期	2024/3期	増減	前年同期比
売上高	49,600	42,788	△ 6,811	△ 13.7%
売上原価	40,186	34,531	△ 5,654	△ 14.1%
販売費・一般管理費	4,791	4,666	△ 125	△ 2.6%
営業利益	4,622	3,591	△ 1,031	△ 22.3%
営業外収益	514	224	△ 289	△ 56.2%
営業外費用	446	419	△ 27	△ 6.1%
経常利益	4,690	3,396	△ 1,293	△ 27.6%
特別利益	5	142	136	2419.7%
特別損失	66	81	15	23.7%
税金等調整前当期純利益	4,629	3,457	△ 1,172	△ 25.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,232	2,382	△ 849	△ 26.3%
(減価償却費)	1,845	1,868	22	1.2%

# 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2023/3月末	2024/3月末	増減
流動資産 計	25,564	22,497	△ 3,067
現金及び預金	4,940	3,405	△ 1,535
受取手形、売掛金、電子記録債権	11,303	12,232	928
たな卸資産 ※	8,364	6,477	△ 1,887
固定資産 計	21,987	21,826	△ 161
有形固定資産	17,893	17,325	△ 567
無形固定資産	40	48	7
投資その他の資産	4,053	4,452	398
流動負債 計	15,737	12,134	△ 3,602
支払手形及び買掛金	5,524	4,326	△ 1,197
短期借入金	7,147	5,108	△ 2,039
固定負債 計	8,563	7,222	△ 1,340
長期借入金	5,021	3,804	△ 1,216
退職給付に係る負債	3,165	3,031	△ 133
純資産	23,252	24,966	1,714
自己資本	23,125	24,966	1,841
非支配株主持分	126	—	△ 126
総資産	47,552	44,323	△ 3,228
<b>&lt;自己資本比率&gt;</b>	<b>48.6%</b>	<b>56.3%</b>	<b>7.7%</b>

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

# キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3期	2024/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	2,042	4,972	2,929
税金等調整前当期純利益	4,629	3,457	△ 1,172
減価償却費	1,845	1,868	22
売上債権の増減額（△は増加）	△ 887	△ 802	84
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 3,016	2,078	5,095
仕入債務の増減額（△は減少）	1,254	△ 1,224	△ 2,479
法人税等の支払額	△ 1,203	△ 1,218	△ 15
投資キャッシュ・フロー	△ 961	△ 1,891	△ 930
有形固定資産の取得による支出	△ 919	△ 983	△ 63
財務キャッシュ・フロー	245	△ 4,735	△ 4,981
借入金の純増減額	896	△ 3,470	△ 4,366
現金及び現金同等物 期中増減額	1,402	△ 1,535	△ 2,937
現金及び現金同等物 期末残高	4,940	3,405	△ 1,535

# 2025年3月期の業績予想

- 化成品事業は、電子部品関連市場の調整局面からの回復傾向が継続する想定から、増収増益を見込む。
- 機械事業は、下水道関連の掘進機は海外向け販売が回復するものの、破碎関連機械は工期の長いプラント販売が前期に集中した反動から、減収減益を見込む。
- 電子材料は、高純度赤燐や酸化ホウ素等は販売数量の回復するものの、ガリウムは販売数量の減少から、売上は前年並み、利益は減益を見込む。

(単位：百万円)

	2024/3期	2025/3期予想	増減	前年同期比
売上高	42,788	44,500	1,712	4.0%
化成品事業	34,391	37,200	2,809	8.2%
機械事業	5,584	4,500	△ 1,084	△ 19.4%
電子材料事業	1,635	1,650	15	0.9%
その他の事業	1,177	1,150	△ 27	△ 2.3%
営業利益	3,591	3,700	109	3.0%
化成品事業	3,028	3,650	622	20.5%
機械事業	579	400	△ 179	△ 30.9%
電子材料事業	368	150	△ 218	△ 59.2%
その他の事業	760	750	△ 10	△ 1.3%
全社費用など	△ 1,144	△ 1,250	△ 106	9.3%
経常利益	3,396	3,600	204	6.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,382	2,500	118	5.0%
1株配当金	91.00円	96.00円	5.00円	5.5%

想定為替レート

147円/USD

# 株主還元方針

- 株主への利益還元を重視しつつも、業績の推移を勘案した財務体質改善および将来の設備投資や事業展開の原資としての内部留保との調和を総合的に検討し決定する。
- 安定配当を堅持しつつ配当性向の更なる向上を目指す。

これに加えて、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応として、

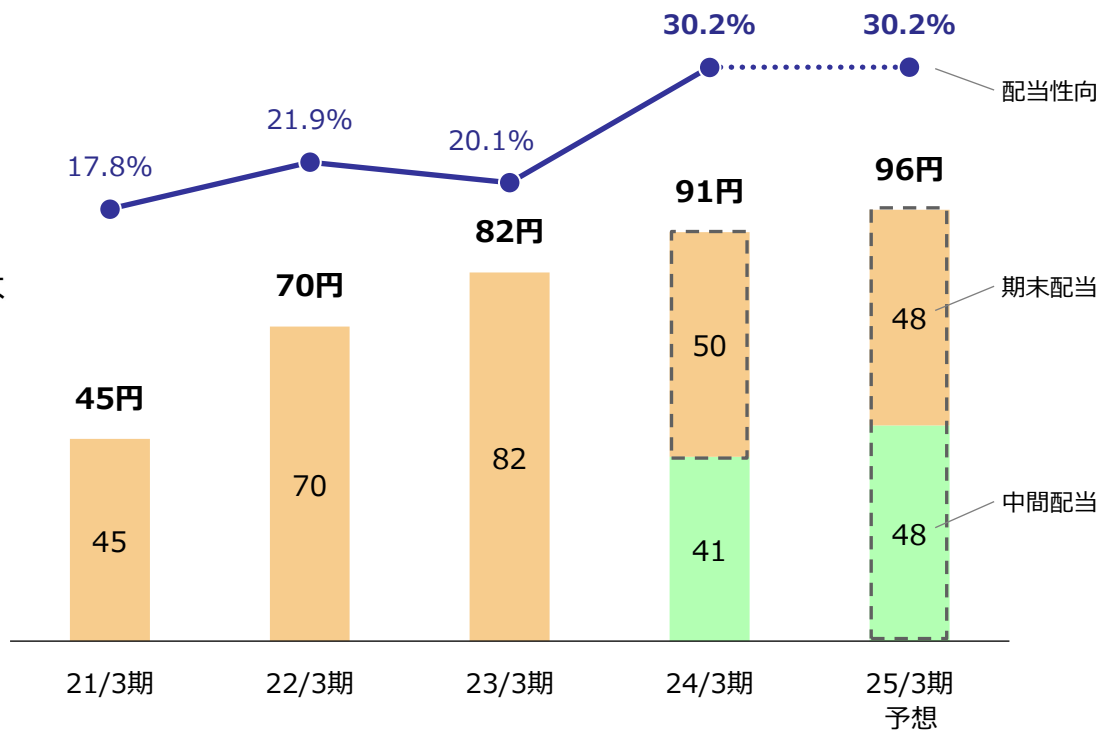
**「配当性向30%以上、ROE10%以上」**を新たな目標に設定。

## 2024年3月期

- 期末配当は、直近予想の1株当たり41円から9円増配の50円を予定
- 中間配当41円と合わせ、年間配当は91円を予定

## 2025年3月期

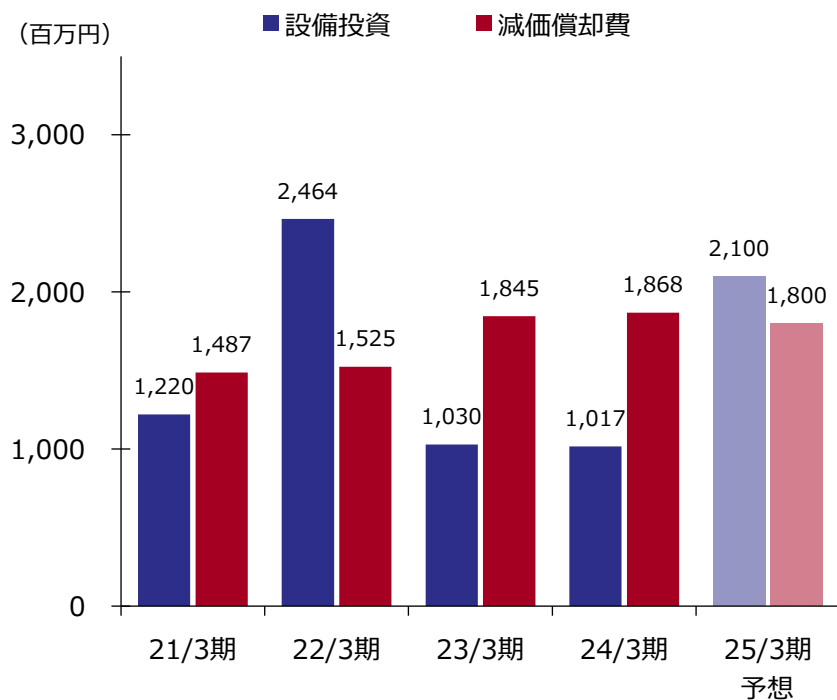
- 年間配当96円（中間配当48円、期末配当48円）を予定。



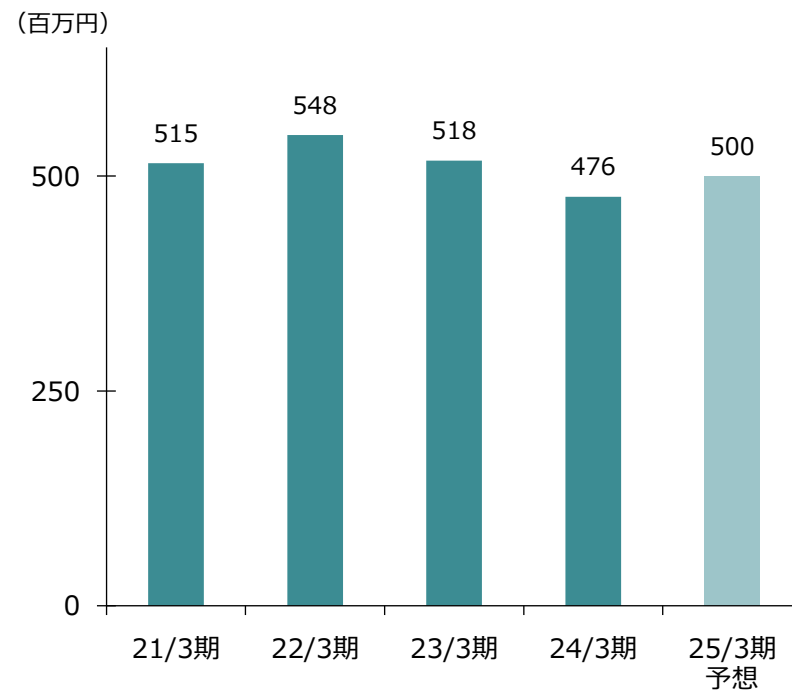
# 設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、2025年3月期は主に維持更新投資が中心であり、減価償却費をやや上回る設備投資を計画。
- 研究開発費は、主に電子材料事業において、原子力の安全性・信頼性向上のための研究開発（当社製品：放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発）を2021年3月期から継続。

## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



# 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－  
ラサ工業株式会社 経理部  
03-3258-1835